

深まりゆく秋のなか、青く澄み渡った空に凜とした空気を感じます。にじっこルームの窓からも、空を見ることができます。子どもたちと一緒に空を見上げながら、「あれは、うろこ雲?」「もこもこ雲もある」と見ている間にいろいろな形に変わる雲に子どもたちは興味津々。外に出られない子どもさんにとって楽しいひと時です。

風しんに注意!!

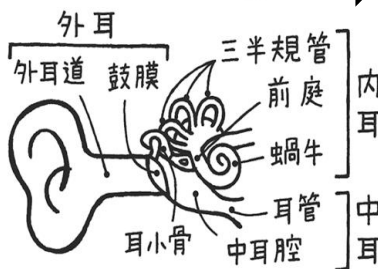


国立感染症研究所は、今年の風しんの累積患者数が、首都圏中心に642人になったと発表しました。(9/26 現在)。妊娠初期の女性が風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群にかかる可能性があり注意が必要です。妊娠を考えている場合は、夫婦で抗体検査をして、必要なら予防接種を受けましょう。助成制度がありますので、詳しくは、鳥取市中央保健センターにお尋ねください。(0857-20-3191)

今、県内で流行している病気

手足口病・ヘルパンギーナ・溶連菌・RSウイルスなどが流行しています。鳥取県感染症情報センターのホームページなどを利用して流行情報をチェックしてみましょう。また、体温がいつもより高かったり、元気がない、食欲がないなど、お子さんがいつもと違う様子であれば気を付けましょう。

急性中耳炎



風邪をひいた後、喉や耳についた細菌が、咳やくしゃみによって耳の奥にある中耳に入り炎症を起こします。乳児は、耳が痛くても自分から言うことはできません。手でよく耳を触ったり、機嫌が悪かったりなど、いつもと違う様子があれば、耳鼻科を受診しましょう。

粘っこい、黄緑色の鼻水が続く。

耳に激しい痛みがあると、泣いたり耳に手を当てたりする。

黄色い耳だれが出ることもある。

- *痛みが激しい時は、患部を冷やしましょう。
- *耳だれが多い時は、出てきた物だけを拭き取りましょう。



ほのぼの手遊び絵本

にじっこルームを利用される子どもさんは日によって違いますが、どの子も好きな絵本の一冊に「**めのまどあけろ**」があります。(♪めのまどあけろ おひさままってるぞ みみのまどあけろ だれかがうたってる〜♪と保育士・看護師が歌い出すと不安で泣いていたお子さんも一緒に手遊びを始め、笑顔になります。

〔問い合わせ〕

鳥取市児童健康支援センター、病後児保育施設「にじっこルーム」
鳥取市的場一丁目1番地 鳥取市立病院内 (Tel) 0857-37-1577

